

「東京ベイエリアビジョン」(仮称)の検討に係る官民連携チーム  
ワーキンググループ(第7回)議事要旨

**魅力あるまちづくりWG**

日時：平成31年6月6日(木) 15時00分～18時30分

場所：都庁第一本庁舎 11階11A会議室

**<WGでの主な意見>**

- ・ベイエリアの将来像を視覚的に伝えるものとして、エリア全体の地図と、提案内容に盛り込むイメージカットで表すと良い
- ・また、ベイエリアの目指す姿が実現されたまちとして文章で示す際、提案内容がより伝わるよう、未来志向のキーワードや、プロジェクトが次々と生まれるような表現をするとともに、民間が主体となって取り組める視点を強調すると良いのではないか
- ・S, M, L, XLのまちのスケールについては、スケールに関する説明が必要
- ・まちと水辺を一体的につなぐ内容については、まち中心ではなく、海の方からまちをつくっていくような表現にしたい。また、東京臨海リングを中心としたイメージパースを盛り込む
- ・交通基盤については、ベイエリアの弱点を克服するための鉄道や空港などの機能強化に加え、ベイエリアならではのモビリティや水上交通など、移動そのものを楽しめるようなポジティブな点も強調すると良い
- ・活力と躍動感のあるまち WG から提案のあった、水・空気・土などの地球環境再生のシンボル・拠点を形成するという内容に関連し、海水を取り入れたクーリングシステムを盛り込んでも良い
- ・実験都市として社会実験などを行いやすくする規制緩和や手続き簡素化の内容については、東京臨海リングと先端イノベーションエリア、イノベーションを生み出す実験フィールドを説明している部分に記載した方が良いのではないか
- ・民間企業目線で投資を呼び込むために重要な具体的取り組み(必要な公共投資、民間インセンティブを伴う開発の実現、大胆な規制緩和等)について記載すべき
- ・WGで議論されてきた構想やコンテンツを実現するための手段として、IR誘致は重要なので、提案の中にはっきり明記すべき

**<本日の議論のまとめ>**

- ・本日の議論の内容を踏まえ、提案書の修正、取りまとめを行っていく

※本WGの開催は、今回で終了